

水害を乗り越え、魅力ある郷土を築くために



「虎居でトライアスロンにTRY!!」大会

激特事業箇所を活用した地域づくり

激特事業で整備された河川空間を活用して、新しい地域づくりを進める取り組みも各所で始まっています。激特事業箇所は、単なる治水対策施設にとどまらず、流域内外の多くの方に親しまれ、地域振興にも貢献する社会資本として、今後ますます期待されています。

虎居地区及び推込分水路分水路（さつま町）における取り組み

平成18年の水害で甚大な被害を受けたさつま町虎居地区では、激特事業により、掘削・築堤・分水路整備が行われましたが、その計画策定にあたっては、地域住民も加わった宮之城地域川づくり検討会及び住民部会で検討が重ねられました。その協働作業の結果、史跡虎居城をイメージした石積護岸や散策可能な回遊路、多目的広場等が地域住民の意見も反映して整備され、虎居地区に良好な河川景観が誕生しました。これを受けて、地元さつま町では河川敷を活用した地域振興の取り組みが積極的に行われるようになっており、さまざまな団体が新たな地域づくり活動に励んでいます。



完成後の虎居地区堤防・推込分水路周辺



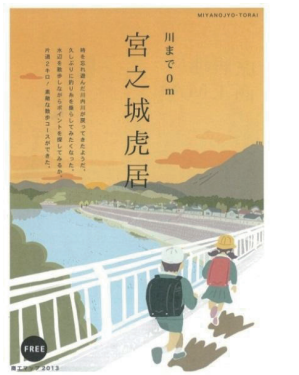
虎居地区住民による石積護岸へのシバザクラ植え込み(平成25年4月)



激特事業竣工を記念して開催された復興記念ウォーキング大会(平成25年2月)



「虎居でトライアスロンにTRY!!」大会(平成25年9月)



商店街有志が作成した観光案内用資料



河川敷で開催されたイベント「せんで川祭り」資料

小学生が描いた灯籠による堤防の飾りつけ(平成25年7月)

鶴田ダム再開発事業における取り組み

平成18年の水害を契機に着手された鶴田ダム再開発事業は、日本最大級のダム再開発事業です。各方面から大きな注目を集めており、毎年多数の見学者が現地を訪れています。

平成25年度には、複数の旅行者が、地元自治体や国土交通省と連携し、鶴田ダム再開発事業の現場見学を観光の一つとして取り入れたインフラツアーを実施しました。



多数の見学者が訪れている「鶴田ダム再開発事業情報館」



平成25年の夏休み期間には1,200名を超える方が見学に訪れました。



平成25年8月時点の鶴田ダム



盛況を呈した夏休み見学会とインフラツアー(平成25年7月・9月)

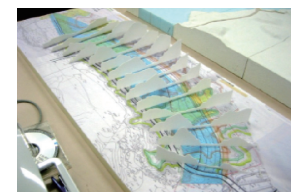
曾木の滝分水路（伊佐市）における取り組み

2012年グッドデザイン賞を受賞(平成24年10月1日)
2012年グッドデザイン・サステナブルデザイン賞を受賞(平成24年11月25日)

「曾木の滝分水路」は、毎年大勢の観光客が訪れる景勝地「曾木の滝」付近にあります。整備計画策定にあたっては、学識者や地域住民代表を含む「曾木の滝分水路景観検討会」が主に検討を行い、曾木の滝や周辺景観と調和し、平常時の利活用や地域の活性化につながる観光資源としての分水路整備を目指しました。

その検討・整備プロセスが評価され、曾木の滝分水路は、2012年グッドデザインを受賞し、グッドデザイン・ベスト100に選出されました。さらに、持続可能な社会の実現を目指している特に優れたデザインに贈られる特別賞「グッドデザイン・サステナブルデザイン賞」も受賞しました。

平成25年度には、鶴田ダム再開発事業とともにインフラツアーの観光地にも加えられ、利活用の幅がますます広がりをを見せています。



曾木の滝分水路景観検討会では、模型等を用いて設計段階から景観や親水性を検討しました。

※見学等を希望される方は、事前にお問合せください。